



PICK UP

まちを守る

誰かではなく、「自分」がする。
そんな人たちが集まる2つの団体を取材。

美しいまちづくり サポーター募集

緑化・美化・清掃活動をする団体が登録すると、活動に必要な用具や資材などの支援を受けられます。

◇登録…活動について市と話し合い、必要書類等を提出。登録後は年に1度活動報告をしてもらいます。

志津川悠々クラブ

志津川悠々クラブの新保^{あきほ}さんは、「毎年集会所の花壇に植えています。集会所を使う人が、花を見て綺麗だねと言ってくれるとやっぱり嬉しいです」と話す。皆さん、花の植え付け作業は手慣れたもの。この日は12人がたった10分程で作業を終えた。「みんな慣れていて作業があつという間に終わります」と新保さんは笑う。「この活動以外にも、毎月1回、神社の掃除をします。皆さん仲が良く、少しでも志津川が良くなってくれたらいいなという思いでやっています」と目が緩んだ。

伊予花の会

「伊予花の会は、山の草を育てることが好きな人が集まっています。草花を育てたり、育てた苗を会員の皆さんに配ることもあります。市内に限らず、幅広く活動し、会員の皆さんの豊富な知識を活かして、公園の樹木の管理などもしています」と伊予花の会の富永^{あきお}彬生さんは話す。

7月1日、伊予花の会で上林森林公園内の風穴でケシの花の整備を行った。比較的冷所に咲くヒマラヤケシは四国では滅多に見られない。風穴にはケシを一目見ようと毎年多くの人が訪れる。

「咲き始めたのは20年ほど前。そこから引き継いでいます。20年近く植え替えをせず、咲き続けていきましたが今年はケシのために植え替えをしています」と富永さんは笑顔を見せた。「世話をするのは大変ですが、楽しみにしている多くの人のためになれば」と前を向いた。

